



よろしくおねがいします

令和6年度が始まりました。

4月8日(月)には「進級式・始業式」をさせていただき、一学年大きくなったお子さま方の姿にたくましさを感じました。

9日(火)には「入園式」を挙行させていただきました。本年度の入園式は、小学校の入学式と同日となり、入学と入園が重なって見えるご家庭が多かったことから、すずか幼稚園は13:00から、第2すずかきしおか幼稚園は13:30からと午後入園式となりました。

今年春先の冷え込みより桜の開花が遅れたため、桜の花に囲まれての進級式・入園式となり、まさしく春らしい季節の中での始まりとなりました。

この後、午前中保育を経て、15日(月)には給食が始まり、17日(水)からは平常保育となります。お子さま方も、次第に園生活にもなじんでこられることと考えておりますので、ご家庭におかれましても、幼稚園で楽しかったことなどをお子さまとお話していただければと思います。

ところで、11日(木)から「個別懇談会」を予定しております。個別懇談会では、保護者の皆様とお話させていただく中で、ご家庭でのお子さまの様子や体調等、いろいろな情報を教えていただくとともに幼稚園に対するご意見も頂戴できればと考えております。保護者の皆様には、お忙しい中を園にお越しいただくこととなりますが、どうぞご理解の上ご協力くださいますようお願いいたします。

この「べる きっず」は、園行事での子どもたちの様子をお伝えしたり、子どもたちの生活に関わってご家庭と園とで共有しておきたい情報を提供する情報紙として、すずか幼稚園、第2すずかきしおか幼稚園の両園共通で発行しております。本年度も園を身近に感じていただき、ご家庭と園とが寄り添えるような情報を提供させていただこうと考えておりますので、ご高覧いただきますようお願いいたします。

教育目標 (園是)

正しく 強く 仲良く

めざす園児像 (園の誓い)

私たちは 仏さまに手を合わせます

私たちは お約束を守ります

私たちは ありがとうと言えます

私たちは お友達と仲良くできます

教育方針

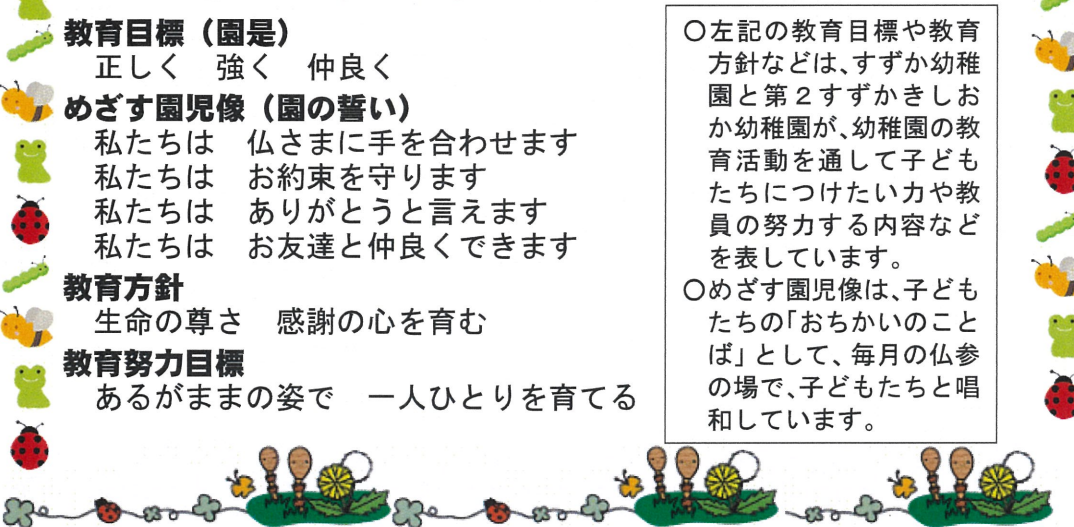
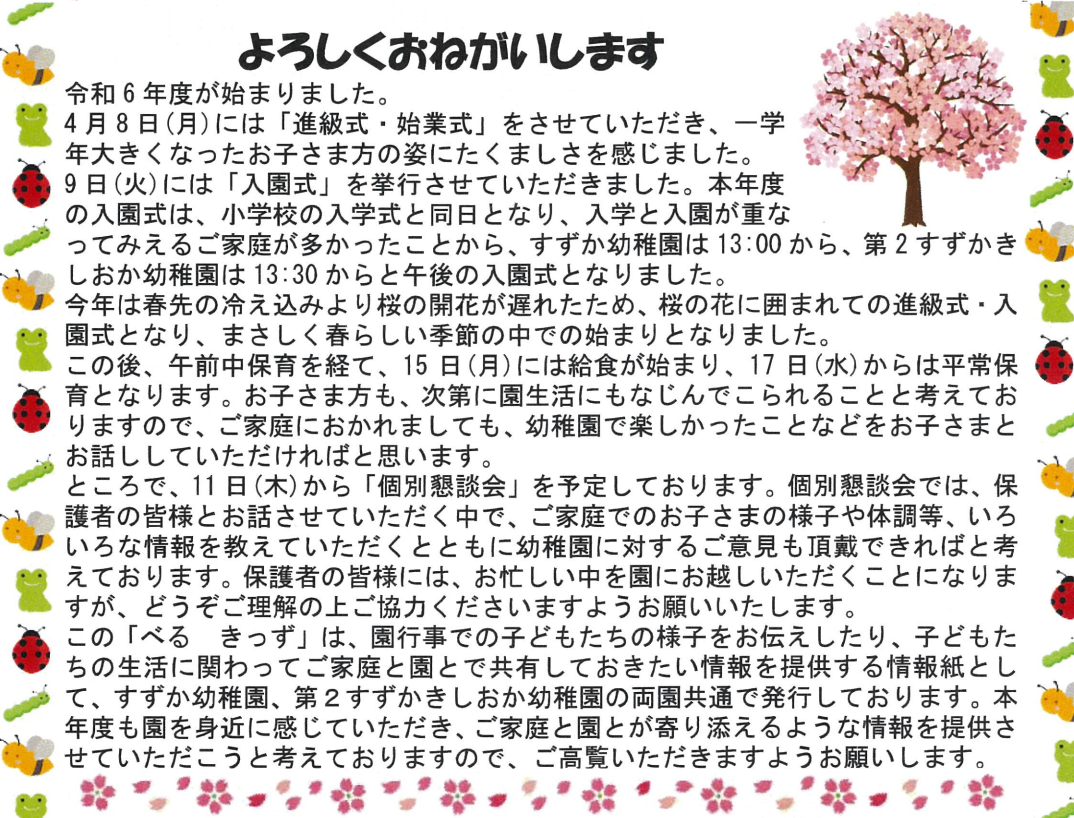
生命の尊さ 感謝の心を育む

教育努力目標

あるがままの姿で 一人ひとりを育てる

○左記の教育目標や教育方針などは、すずか幼稚園と第2すずかきしおか幼稚園が、幼稚園の教育活動を通して子どもたちにつけたい力や教員の努力する内容などを表しています。

○めざす園児像は、子どもたちの「おちかいのことば」として、毎月の仏参の場で、子どもたちと唱和しています。



チンパンジーと話す飼育係

上野動物園の山崎太三という飼育係は、1951年から1978年まで27年間も勤務し、チンパンジーの名調教師といわれた人であるが、彼はチンパンジーと話をしたのである。私も前に一度びっくりしたことがあるのだが、そのとき彼はおりの中でチンパンジーに一生懸命話しかけていた。きょうは暑いとか、どうしておまえはこんなところを黒くしているのとか、爪が伸びすぎたじゃないのとか、よその人が聞いたらくだらなと思うかもしれないようなことをいっている。しかし、彼にいわせると、チンパンジーと仲よくなれるコツはこれなのだそうだ。チンパンジーに自分のいっていることがわかるとは思わない。しかし、話しかけることによって、意味は伝わらないけれども、思いは伝わる。だから、あらゆる機会を利用して、彼はチンパンジーとしゃべるのだそうである。当時の上野動物園のチンパンジーはスージーという名の非常な人気者で、スージーが舞台に出て芸をするときは、強いられて、いやいやながらするという感じは全くなかった。本当に喜々としてやっているのがよくわかる。それは、山崎さんが、きょうはどうだい、調子がいいかいなどと話しかけてやっているからであった。意味はもちろんわからないけれども、思いはわかる。ほんとうにきょうは調子が悪そうだというときはスージーの様子でわかるから、そういうときは出さないでおく。スージーの舞台がすばらしかったのは、そういう裏があったのである。いま考えてみれば、それはグルーミング・トークだったのである。

要するに、人間とチンパンジーでも、肌は触れ合わずとも、グルーミング・トークの中でお互いが理解し合えるのである。人間の赤ちゃんもチンパンジーと同じように、まだ口はきけない。しかし、グルーミング・トークによって思いを伝え、ぬくもりを伝えることができるのだ。

(元上野動物園長 中川志郎 著「パンダは舐(な)めて子を育てる」より抜粋)



ゾウとライオン、1対1で対決したらどっちが強いのか？

動物園のアフリカゾウはおとなしい。餌を黙々と食べているだけで吼(ほ)えもしないし、暴れることもない。アフリカのサバンナにいるときは、家族が集まって群れ単位で生活しているが、ゆっくり移動するだけで静かな一団である。しかし、群れの子ゾウを狙ってハイエナやライオンが襲ってきたら戦う。

では、ライオンとゾウ、1対1ではどちらが強いだろうか。

ゾウが戦いで使う武器は鼻ではなく、強力なキック力を秘めた足だ。その巨大な足で蹴っ飛ばすと、ライオンといえども骨折するか、踏みつぶされてしまう。

(坪内忠太 著「子どもにウケる たのしい雑学」より)

